

シアトル別院時報

41巻5月号

2022年度 BCA 教化標語

『進め! み教えと朋に歩もう。一仏法を次代に、子や孫に一』



今月のご法話

“ジム ウォリック先生の
リタイアメント”

輪番 楠 活也



ホワイトリバー仏教会に開教使補として勤めてくださっているジム ウォリック先生が5月31日をもってリタイアされます。この場をお借りして、ジム先生の長きにわたるお念仏の教えの伝道、布教活動に敬意と感謝の意を表させていただきます。ジム先生は、2003年にお得度され、2007年に教師を授与されました。その後、シアトル別院で僧侶として活動されました。2018年6月、小杭先生の後任として、ホワイトリバー仏教会で勤められることになりました。今月は、ジム先生との思い出を紹介させていただきます。

私が初めてジム先生に出会ったのは、2014年でした。当時、私は、カリフォルニア州のローダイ仏教会の駐在開教使でした。時には、バークレーにある浄土真宗センターで浄土真宗の儀式などを教えることもありました。記録を見ると、その年、私は6月と8月に二度、シアトル別院に呼んでいただいています。その一番の目的は、シアトル別院のミニスターズアシスタントへ勤式の指導をしてほしいということでした。その時、お寺でのセミナーが終わってノースゲイトにあるホテルまで送ってくれたのがジム先生でした。その当時、まさか自分が数年後にシアトル別院に赴任することになるとは夢にも思っていませんでした。

それから3年後、2017年1月に私は、再びシアトル別院を訪ねます。それは、私がシアトル別院へ輪番として赴任するための面接でした。異動のための面接でしたので、とても緊張したのを覚えています。現在、修理中のお寺の

5月の予定 法要は対面とYouTube配信

- 1日(日) 10時 家族法要
- 4日(水) 10時 朝の法要
- 4日(水) 11時 お経と会話 ZOOM
- 5日(木) 11時 日本語法座 キャンセル
- 5日(木) 2時 日系マナー法要
- 8日(日) 10時 蓮如上人追悼法要
- 11日(水) 10時 朝の法要
- 11日(水) 11時 お経と会話 ZOOM
- 12日(木) 11時 日本語法座 ZOOM
- 14日(土) 10時 合同メモリアル・祥月法要
- 15日(日) 10時 降誕会法要
- 16日(月) 10時 親鸞聖人月命日法要
- 18日(水) 10時 朝の法要
- 18日(水) 11時 お経と会話 ZOOM
- 19日(木) 11時 日本語法座 ZOOM
- 19日(木) 2時 日系マナー法要
- 22日(日) 10時 家族法要
- 25日(水) 10時 朝の法要
- 25日(水) 11時 お経と会話 ZOOM
- 25日(水) 11時 メリル・ガーデン法要
- 26日(木) 10時 日本語法座 ZOOM
- 29日(日) 10時 家族法要
- 30日(月) 10時 二世ベッツ・メモリアルデー法要 レークビュー墓地

月曜日・火曜日 楠輪番 休み
詳細は下記にあります。

ラウンジに通されて、そこで面接が始まりました。3－4人の方がラウンジのソファに座っていました。そのうちの一人がジム先生でした。その時に、ジム先生からこのような質問を受けました。

「仏教には、仏、法、僧（サンガ）の三宝があります。それは、それぞれどれも大切ですが、あなたにとって、どれが一番大切ですか。」

私が、どう答えようかと考えていると、ジム先生が、続けて話されました。

「私は、僧（サンガ）が一番大切だと思います。お寺があっても、教えがあっても、聞いてくれる人が居ないと、何にもなりません。だから私にとっては、僧（サンガ）が一番大切です。」

とても明確な答えをいただきました。そのお答えの通り、ジム先生は、シアトル別院にいるときも、ホワイトリバー仏教会でも、サンガの方々、メンバーの方々を大切にされて活動されていました。私も見習いたいと思います。

このジム先生からいただいた質問は、今も繰り返し自分に問いかけています。普段、何気なく三帰依文を称えさせていただいていますが、それらはどういう意味なのでしょう。この機会に、三宝に帰依するというのとはどういうことなのか、どのように実践することなのかを私なりに考えてみました。

1 自ら仏に帰依したてまつる。

仏さまの真のお姿は、色もない形もないものです。しかし、そのままでは、私たち凡夫は“仏”を認識することが全くできませんので、いろいろなお姿を取って私たちの前におでましくださっています。そのお一つが、お寺のお内陣におられる仏像や絵像もしくはお名号としての仏さまです。お寺、お内陣を綺麗に整え、きちんとお荘厳をし、お供えをし、お勤めをし、仏徳を讃嘆させていただくのが、仏に帰依するということです。

2 自ら法に帰依したてまつる。

法というのは、真理のことです。つまり、仏様の教えです。それが、お経という文字になって私たちのもとに届いてくださっています。僧侶になる時に、『僧侶の心得』というのを覚えなくてはなりません。その中に、“終身僧侶の本分を守り、勉学布教をおこたらないこと”とあります。若い時も年をとっても、常に仏法を聞き、勉学を深め、その法に基づいて生活を営む、それが法に帰依するということです。

3 自ら僧に帰依したてまつる。

僧（サンガ）は、もともと仏道修行に励んでいる方々の事をいいます。アメリカのお寺では、それを広い意味でとらえて、お寺のメンバーの事をサンガと呼びます。仏様の教えは、師匠や先生から学びます。そういう方々の教えにしっかり耳を傾けなければなりません。そして、その学んだ教えを今度は、私がお寺の方々に伝えます。浄土真宗では、自信教人信という教えを大切にします。まずは自らが教えを学び、喜び、そしてその教えを他の人へ伝える。私たちは、他の人に教えることを通して、また自分が学んでいきます。そういう意味で、私にとって、僧（サンガ）は、私が仏道を歩むための先生です。お互いに仏法を伝え合い、学び合う、それが僧に帰依するということです。

ジム先生に大切な宿題をいただいたように思います。こうして、仏法僧の三宝に帰依するとはどういうことかというのを考えていくと、それらは三つのバラバラなものではなく、つながっていることがよくわかります。僧（サンガ）を大切にしながら、仏にも法にも帰依していくことが大切なのでしょう。みなさんも、三宝に帰依するとはどういうことか考えてみてください。

合掌

日本語のメール・アドレスができました。 ご意見、ご質問、お申し込み、などお知らせください。
seattlebetsuin.nihongo@gmail.com

★ 祥月法要のお名前は英語面に掲載されます。

★ お寺でお参りできるようになりました。

予約は要りませんがマスクは必要です。安全な距離を保つようにしてください。

日曜法要と水曜日の朝の法要 ユーチューブでも引き続きみられます。



ティートーク 別院ニュース

リアン・西・ウオング 別院理事長

「4月の雨は5月の花を持って来る」という謂れがあります、新しい息吹き、暖かい日差しが先にはあることを言っています。お寺ではその言い回しに似た前向きな様子を、パンデミックより回復しつつある現状で感じています。まだ完全なオープンではありませんが、多くの機会にお寺でのイベントに参加できるようになりました。水曜日と日曜日の法要は本堂で執り行われ、オンラインでも引き続きご覧になれます。配信は同時配信ですので10時からですが、見逃された場合はその後ユーチューブで配信されます。

スタッフや皆様の安全が一番大切ですのでお寺に入られる時はマスクをされ、安全な距離を保たれるようお願いいたします。またワクチンの接種、3回、4回接種をお勧めします。

先月の花まつり法要とクラフトのイベントは好評でした。ボランティアと参加者に感謝します。

ウィステリア・ビュー・ハウスと ICHS (インターナショナル・コミュニティー・ヘルス・サービス) がスポンサーとして、お寺でワクチン接種が開かれました。別院ではコミュニティーと別院メンバーにワクチン接種の機会を下さったスポンサーに感謝します。

降誕会 (親鸞聖人のお誕生日) を別院では5月15日にお祝いします。婦人会よりスペシャル・トリートが参加者に用意されます。

お寺の諸団体、ボランティア、ドナーなど、別院と地域への皆さまのご支援に深く感謝します。

皆様とご家族が阿弥陀さまの知恵とご慈悲に包まれ心安らかに過ごされますように。 合掌、

5月の予定の詳細

日曜法要の日本語のご法話はビデオ・レコーディングです。ユーチューブでご覧ください。

5日(木) 11時 日本語法座 キャンセル

15日(日) 10時 **降誕会法要**

ご法話 英語 楠輪番、日本語 林齊昭師 恵光寺

30日(月) 10時 **二世ベッツ メモリアル・デー法要** レークビュー墓地

6月の予定

5日 **シアトル別院先亡者会員追悼法要**

12日 **アワード・表彰式・法要** ダーマ・スクール最終日

19日 **総長・輪番追悼法要**

ミュージック・ノート

ケミ中林、

シアトル別院の花まつり法要と地球の日（アースデー）法要ではサンガの皆さんがレコーディングを大変頑張ってくださいととてもスペシャルな法要となりました。法要と灌仏があった4月10日の花まつりのオープン・ハウスの前に4月3日に花まつり法要がありました。本堂で一緒に「さくら、ちら、ちら、、」を歌うのと同じではありませんがマス為国が「ハッピー・ブッダ・デイ」をリードしてくれ、サンガ・シンガーズが各家でレコーディングしたのを集めました。また「ルンビニ・ガーデン」もコラボできました。

4月17日のアースデー法要では若者たちが参加し、ダーマ・スクールの生徒が輪番のリードされる「バンドナ・ティーサラナ」をレコーディングしました。イベット寺田、クレア村田、コナー・マッキナーがレコーディングを可能にしてくれました。ヒューが「プレシャス・アース」のソロをバイオリンで演奏しました。ゲーブ・シェンとアラン・ラモス、そして祖母のアイリーン真野がドーナ佐々木の「ゴールデン・チェイン」をレコーディングしました。シャーリーン真野シェンがこの家族での参加を可能にしてくれました。添付3人の写真。



お寺での法要が可能になって来ましたが、法要に音楽を入れることは新型ウィルスからの安全を守るためにも工夫が要ります。BCAのウェブサイトにはミュージックが次々とアップされています。特にうれしいことに盆踊りのソングや太鼓の演奏がコピーライト・フリーで使えます。イサク影山のサイトは <https://www.buddhistchurchesofamerica.org/obon-gathering-of-joy>

2022年シアトル別院スカラーシップ小論文

受賞者 パーク エミ

小論文のテーマ：花は咲く縁が集まって咲く

私の家族は、おばあちゃんのことを「ババ」と呼びます。私はババが、あごの下に小さなボンネットの紐を結んで、家の裏の畑で毎日、何時間も過ごしている姿が大好きです。ババの畑は毎年大豊作で、それには、理由があります。畑でとれる作物は、種、土、水、日光があるから育ちます、そして作物が取れるために最も重要なのは、ババの愛です。

ババには10人の孫がいます。全員がその裏の畑で育ちました。暑さと雲が立ち込める夏の日々も、私たち孫は多くの時間をそこで過ごしました。私たちは、ババが昔ながらの方法で日本の有機野菜や植物を育てるのをよく手伝いました。例えばインゲン、カボチャ、ブルーベリー、枝豆などです。ババから畑でものを育てるための基本を学びました。土を直線に掘り、一歩歩いて種を落とし、土をすくって穴を埋めます。また、「チームメイト」の孫たちと仲良くすることも学ばなければなりません。とはいえ、姉やいとこたちとのケンカ、ののしり合い、怒鳴り合い、土の投げっこ、など、数えきれないくらいの争いごとがありました。ほとんどの場合、争いごとは、誰が一番速くバケツを雑草でいっぱいにするか、誰が一番多くごぼうを掘ることができるか、誰が一番多くのミミズを捕まえることができるか、というような競争が原因でした。

私は小さいころ、純粹で、知らないことだらけでした。いろんなところで人生の教訓を学んでいたにもかかわらず、そのことに気づかず、感謝も出来ていませんでした。私は生きていくうえで必要な思いやり、共感する心、感謝の気持ちをもつことがなかなかできていませんでした。今思うと、私は、そういう大切なことを裏の畑と毎週日曜日の朝に通ったお寺から学んでいたのです。学校生活、クラブ活動などのいろんな経験で気づいたことは、世の中はいかに厳しいかということです。私はいろいろな声に耳を傾けること、そして、いただいた人生の一つ一つの機会に感謝することの大切さを学びました。そのように気づけたのは仏様の教えのおかげです。そのように気づくことができたことで、今までとは違った見方をすることができるようになりました。私は自己中心的なものの見方を改め、より注意深く物事を見るようになりました。浄土真宗から、互いに相和しているといったことを始め、多くの事を学びました。COVIDによって、私たちの家族全員がそのことを試されていたように思います。私の家族

は私をゴールデンチェーンのように包んでくれています。人は、日本、ワシントン、あるいは世界のどこにいても、みんなつながっていて、共に生きています。

「一期一会」、その瞬間に生きる。私たちは一瞬一瞬をその時を生きています。畑で働くことをいやがる代わりに、祖父母が亡くなる前に、今できるそれら一つ一つの経験を楽しむようにしています。ババとジジそしてすべてのご先祖様は私の人生の「種」です。健康が脅かされたり、言い争いをしたりするなど、つらい人生の雨を経験して温かいお日様の光が自分の中に花を咲かせてくれました。それらすべての経験と時間が「エミ」を成長させてくれました。自分の多様なルーツを誇りに思うことができるようになりました。そして世界で一番働き者の家族に囲まれて育てられ、強い体力、精神力を持つことができるようになりました。

今、目の前にあるお皿の上の野菜を見ると畑の中にいるババのことを思います。この小さなお婆ちゃんがどれだけ幸せを私たちに届けてくれたことでしょう。水、日光、泥だらけの手、ケンカ、笑顔、愛が込められている野菜に感謝しながら合掌、そして「いただきます」。

別院事務所の新しいスタッフ

新しい事務所のオフィス・マネージャーがアイリーン・かわはら・たなべに決まりました。5月2日より事務所で働きはじめます。「お寺ではダーマ・スクールで3年間教えています。趣味はクッキングとクラフトでメンバーのみなさんに会えることを楽しみにしています」。彼女に会ったら声をおかけください。



シアトル別院先亡者会員追悼法要

シアトル別院先亡者会員追悼法要は6月5日10時より執り行われます。この重要な法要はシアトル別院の先人の生前の貢献に敬意を払い感謝する日です。法要はYouTube配信でもご覧になれます。

法要中に先亡者のお写真が映されます。亡くなられたご家族のお写真の申し込みはメールで office@seattlebetsuin.com にお送りください。サイズは100KBまでにしてください。ご自身のメール・アドレス、お名前と電話番号、ご家族の名前を添えてください。前年に申し込まれた方は申し込みの必要はありませんが今年は外して欲しい方はお知らせください。

お写真がない場合もお名前だけでも結構です。

お写真の申し込みは5月29日までです。そのあとは写真・お名前が入るかお約束できません。

合掌、 シアトル別院 206-329-0800

BCA の "Dial The Dharma" (テレホン法話) というのをご存知でしょうか。

インターネットができない方でも、電話で短い日本語の法話が聞けます。(英語もあります)

英語は毎週原田総長がお話しされます。日本語は、日本語ができる開教使が順番で法話をします。

法話は毎週水曜日に新しいものに更新されます。法話は5分以内のものです。

電話番号 1-800-817-7918、その後英語であれば1を日本語であれば2を押せば聞くことができます。



白河仏教会のファンドレイズ

メモリアル・デーの週末にお花の販売のファンド・レイズが計画されています。お花のファームから直接届けられます。白河仏教会へのサポートにきれいなブーケをお求めください。ピックアップは別院でできます。

5月28日(土) 11-12時。

ウェブサイトでご注文は www.wrbt.org/flowers

** ZOOMで参加しましょう **

木曜日の日本語法座について

ZOOMで木曜日の日本語法座に参加しましょう。毎週木曜日、11時より先生と会話ができます。ZOOMの申し込み先は別院事務所まで。お友達などもお誘いください。office@seattlebetsuin.com

ZOOMでメディテーション

毎週日曜日 9時から。別院まで連絡を。office@seattlebetsuin.com

お経と会話が水曜日 11時より 11時半まで開かれています。英語での会話ですが ZOOMで参加できます。事務所まで申し込んでください。office@seattlebetsuin.com

Zoom ダーマ・エクスチェンジについて

ZOOMのレジスターは newsletter@seattlebetsuin.com までメールしてください。名前、メール・アドレス、付属のお寺名を書いてください。ZOOMのリンクが送られてきます。

Zoom ダーマ・エクスチェンジ 日曜法要のあと 11時より

5月8日 キャンセル

アマゾン・リンクについて お寺のメール・ニュースレターにリンクあります

皆様やご家族などアマゾンでお買い物されることが多いと思いますがスマイル・アマゾンにレジスターしますとお買い物の0.5% がレジスターされた非営利団体に還元されます。お寺も受け付けられる団体に入っていますのでご家族、ご友人にレジスターしていただければようお尋ねください。買い物される方には値段が変わったり、余分なチャージはされません。

初参り 4月17日

ノラ・セツコ・スベンケラド 10月30日 2021年誕生

両親 トムとニコール・せつこ・スベンケラド

シェリー・モーア（祖母）よりの感想

ノラの曾祖父、ダグラス山田は4月17日に誕生。ノラの母、ニコールとシスターは別院で、誕生した次の4月17日に初参りをしました。この伝統を続けることは家族にとってとても大切なことです。



婦人会便り

大川ジェニー・鹿島

加奈子 シアトル別院婦人会共同会長

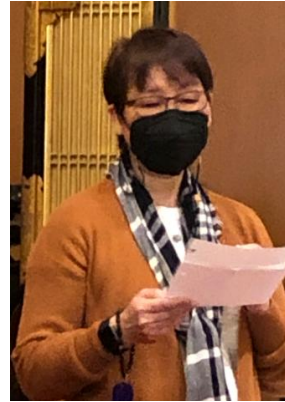
別院婦人会の活動基本方針（ミッション・ステートメント）

浄土真宗に基づく仏教徒としての認識を高め、会員の親交を促進すること：シアトル別院を支え、支援し、地域社会に貢献する



4月24日婦人会では新型ウィルス始まって依頼、初めての対面での新入会員歓迎会を開きました。アン長谷川、アンドレア真野、メーベル富田の3人のご婦人たちが入会されました。

この婦人たちはお寺や地域で活躍されて来ました、これからも活躍が期待されます。本堂で会員の方々にお会いできて本当に嬉しかったです。またこの会はZOOMでも配信されていました。スペシャル・サンキュー：先生、ティーナ、スージー、ジョーン、マーガレット、ローレン、それにコナーとアレックスにはこのプログラムの配信などでお世話になりました。



写真：シャーY, アイ
リーンM, フランS,
アンドレアM, デビ
ーS 右 ティーナ
Z-K, スージーY

2023年の世界仏教
婦人会大会での日
本旅行の用意のた

めに日本語のレッスンが始まりました。便利な会話、ひらが
なと漢字を少し、これは街の中を散策するのに助かります。
大会でのバンケットでのテーブル・メイトとも楽しめます。

婦人会主催のピクニック・ボールをドーナツ本と一緒に楽し
みましょう。5月14、21日3-5時半。

写真：カナコK, ジェニーO, アンH, アンドレアM, 楠輪番



親鸞聖人の木像が取り除かれることは以前にお知らせしまし
たが4月15日に感謝と尊敬の念で最後の法要を勤めました。
スカウトが木像をノースベンドに移し17日に焼きました。



花まつり法要・イベント
ではベビー・仏陀のイラスト付
きカップ・ケーキが用意され
ていました。何時も嬉しく頂
いております。

写真：アイリーン後藤

別院維持会会費

別院維持会費はお寺の維持・運営の経費になります。また運営とプログラム（オンラインのライブ配信、バーチャル法要、レクチャー費用、メディテーション費用、ブック・勉強会費用など）の経費になります。70歳以下は最低400ドル、70歳以上は350ドルです。会費をお納めになられた方々のお名前が英語面にあります。

